



いのち

生命の記憶

~Born in The Space~

人はなぜ、この星に生まれ、ここに暮らしているのか...

そんな疑問を持ったことがないでしょうか？

宇宙が生まれて137億年。

生命は長い時間をかけて変化し、姿を変えながら、

いのちの流れを紡いできました。

宇宙を感じることは、いのちのルーツを感じること...

主人公の少年とともにいのちのルーツを感じる旅へと誘います。

投影時間 24分 対象 小学校中学年～一般

登場人物 繊細な心の少年、光の存在 (声の出演/谷山浩子)

素材 スライド/100枚 VTR/15分 楽曲/谷山浩子



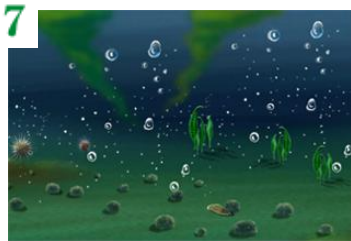
1 ウィリアム・ブレイク『無心のまえばれ』の朗読が始まります。一粒の砂に世界を一輪の野の花に天国を見、つかみなさい。君の手のひらに無限をそして、ひとときの中に永遠を。



2 どこからか光が現れ、少年に語りかけます。悩める少年の心を解きほぐしてくれるかのように...。「あなたの手を見てごらん。小さいけれど、手は生命を運ぶことも、心を包みこむこともできる。その手は、地球の誕生から今につながっている生命のあかし」



3 「この変化に10億年もの途方もない時間が費やされたの。集まったものたちは、水の中で泡と一緒にかたちを丸めて膜を張った。このかたちを、生命はうまく利用したの。そして、同じものをつくり続ける」



4 「生命は、生きている地球のあらわれ。生きている地球の一部として、生命は誕生したの。大きな流れは、君たちのからだの中で続いているわ。でも、流れが大きすぎて誰も気づかない...」「僕たちは『生命』を運ぶ船なのかな」



5 「生命の源が大きな海の中に広がったように、珊瑚たちは生命を紡ぐため、いっせいに卵を海の中に送り出している...」「星のようだね。宇宙なの?」「そう。宇宙。私たち自身も宇宙。生命が誕生して、宇宙は目や耳を持ったの。自分の姿を知るために...」



6 「どうして生まれたんだろう?」「なぜ、ここにいるんだろう?」と少年は答えのない疑問に悩みます。「この宇宙の中で、人はちっぽけな存在...。人は何のために生まれ、生きているのか? ...誰も、僕に教えてはくれなかった」



7 「水の中で、生命は生まれたわ。原始の海は、生命の源が、すべて溶けあっていた...。かつて、宇宙の中で一緒につくられた仲間たちが、海の中で再会したの。集まったものたちは、自分の複製をつくり始めた。次の世代に、生命を紡ぐすべを生み出したの」



8 「生命は、次に進化という方法を取り入れた。自分と同じ生命を育みながら、少しずつ、いろいろなかたちを生み出したの。そんなある日、海から、飛び出そうとする仲間が生まれたわ」「それが僕たちの遠い先祖なんだね」



9 「それは、生命(せいめい)というシステムそのもの...。その流れの中で生きているのが、私たち生命体。生命と宇宙は、区別ができないもの...。だから、生命は、君だけのものじゃないのよ...。宇宙全体につながっているの」



10 光は宇宙の誕生の場面に少年を誘います。「137億年間、原子は旅してきた。この長い時間と広い空間の中で生命の素は創られたんだね。今、この宇宙にみんな生きている。ここでしかできないことや、会えない人たちがいる...その、すばらしい奇跡」